

令和3年度 学校経営方針

《有明中学校区共通目標》ふるさとを愛し、未来の創り手となる児童生徒の育成
《豊水小学校教育目標》夢実現に向けて、地域とともに、目の前の一人一人を、
認め、褒め、励まし、みんなで伸びていく学校
～自ら気づき、考え、行動できる児童～

【めざす資質・能力】論理的思考力・探究力・創造力・コミュニケーション力・共感力
(目標に向かってがんばる力、人とうまく関わる力、感情のコントロール力)

1 学校経営の基盤…行動目標:3K→3K(気づき・考え・行動する → 3つの輝きへ)

- 子どもが輝く…「分かった・できた・使ってみよう」を実感する授業。
小さな伸びを認める。自己有用感・自己肯定感の醸成。
- 教師が輝く…笑顔で気配り・プラスワンで働く。働き方改革で風通しよく。
- 地域が輝く…地域の教育力活用。Win - Win の関係作り。地域学校協働活動の充実。

2 学校経営の方針

愛(合い)あふれる学校

認め合い、支え合い、力を出し合い、高め合い、喜び合いのできる学校

(1) 教師力の向上 自信と誇りを持ち厳しくも温かく育む教師であること

- 「**教師は、授業で勝負**」…学び続けるものこそが教える資格を持つ。「熊本の学び」の推進。
授業で子どもの目を輝かせ、自信をつけさせ、夢を持たせる。
全員参加の授業づくりをする(聞く態度の育成、めあてからまとめ・ふりかえりのある授業)
ほめ言葉のシャワー(「認め・褒め・励まし・伸ばす」言葉かけと適切な指導助言)
一時間の伸びやワクワク感を実感させるための評価・言葉かけ。
校内研の共通実践事項の積み上げ。1人1台端末環境におけるICT活用指導力の向上。
- 「**学習指導＝即生徒指導**」授業の中で自己有用感・自己肯定感を育む
- 「**言葉・話を大切に**」
教師は最大の教育環境。自分の言動が子ども一人一人の人格形成に深く関わる。
読書によるコミュニケーション力・共感力・創造力のアップ。読書習慣の確立。
- 「**自分の持ち味**」を生かし、一人一人の子どもの目を輝かせる学校づくり
- 「**凡事徹底**」…あたりまえのことがあたりまえにできるように。
- 「**あいさつ**」…関わり合いのスタートとして。「はいっ」の返事
- 「**主体性**を育てる」…「教師から与える」から「子どもから引き出す」への転換

(2) 人権教育・特別支援教育の視点を大切にした、教育環境作り

- 児童の特性や環境への理解を。気になったら電話。電話より訪問。教育→今日行く
- 授業のユニバーサルデザイン化。見通しを持たせる。視覚的支援。思考ツールの活用。

(3) 組織力の向上…情報の共有

- 「**報告・連絡・相談・確認**」の徹底…初期対応が問題解決の鍵。明日に持ち越さない。
- 学校総体として、問題の解決に当たる。一人ではなく、二人で、チームで。
- オフサイトミーティング(気楽にまじめな話をする)を意識した情報共有

(4) 信頼される学校…子どもの変容、向上した姿から保護者や地域からの信頼が生まれる

- 地域とともにある学校づくり
地域、保護者の信頼(協力)なくして、学校は成り立たない。
情報発信のチャンスを生かす。**学級便り**を大切に。学校ホームページの充実。
「学校←→地域」双方向の活動展開。児童の参画活動推進・よさ発信。自己肯定感へ。
地域活力へ。
安全安心で美しい学校環境作り。季節の花々・清掃の行き届いた空間・整理整頓
- 教職員としての使命と責任を果たす…不祥事の根絶、気づき・考え・行動する教師に。

..... 豊水小が大好き! 全児童51名、全職員18名がそう思えるように!